

回覧													
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アクティブ長洲小

長洲町立長洲小学校だより
 令和2年7月30日 第6号
 文責 校長 川富 一弘

授業が変わる!?! ~子供が創るこれからの学びの姿~



学校再開から2か月が過ぎました。6, 7月の2か月ではありましたが、遅れた学習を取り戻しつつも新しい授業づくりに取り組んでいます。

左の写真は、5年生の授業を他学年の子供と先生方に公開して、これからの本校の授業スタイルについて学び合った際のものであります。よく教員の研究会では、一つの授業を教員が見て学び合うのですが、今回は教員だけではなく子供達にも見てもらい、本校が目指す授業のイメージを共有することをその目的としました。



授業では、学習リーダーと呼ばれる子供がいて、授業の進行を担います。リーダーが、「ペアで話し合ってください」と言えば、互いに考えを交換し合います。もちろん、授業の中で押さえるべきポイントでは、先生が前に出て解説したり、思考を深めるための助言をしたりします。



本校では、何よりも、子供達が問題に対して主体的に学びに向かい、友達と協働しながら解決に向かうことを狙っています。この日、授業を提供した内田教諭は、本校で授業研究主任をしており、この2か月で自学級をモデル学級として育てていただきました。今後は、どの学級でも同じような授業ができるようになれば、進級し担任が替わっても、子供達が安心して見通しを持って授業を進めていくことができます。

今後も互いの授業を見せ合いながらより標準化、共通化された本校なりの授業スタイルを構築していきます。

車椅子体験学習(6年生)

夏休みを目前に控えた28日、町社会福祉協議会の出前授業として、本校体育館にて車椅子の体験学習を行いました。はじめにいろいろな型の用途別車椅子を紹介してもらい、そしてよく見かける車椅子の構造から名称、そして使用方法を学びました。

その後は、実際に車椅子に乗って、自分自身で動かしたり、利用者と介護者に役割分担して動かしたりしました。慣れずに恐る恐る車椅子に座り、前進したりUターンしたりしました。



車椅子を実際に動かしてみて、その難しさや、介助する際の注意点を聞く中で、障がいをもつ人の立場に立って考え、何が必要で何が足りないか、これまで経験したことのない見方や考え方の視点を持つことができたのではないかと思います。

貴重な体験の中で、社会の一員としてできること、日常生活の中で、学校生活の中でできること、その両方を考えるよい機会となったようです。

無事故ですごそう！夏休み

今年の夏休みは、8月1日から23日までの23日間。コロナ禍による臨時休校の影響で例年の約半分の休みとなりました。とはいえ、いつもの解放感はなく、第二波とも言えるコロナ感染に気を付けながらの休みとなります。令和2年7月豪雨での大災害も記憶に新しいこの頃、梅雨は明けても今度は台風にも気を遣わなければなりません。交通事故等も含めて、ただただ子供達が無事に夏休みを過ごしてくれたら、と願うばかりです。ご家庭でのご指導、地域での見守りをよろしくお願いします。特に県外への移動を予定されているご家庭におかれては、十分な対策と健康観察を重ねてお願いします。

「愛情ねっと」への登録をお勧めします

大牟田、荒尾、南関、長洲地域の様々な情報をパソコンや携帯電話にメールを配信するサービスです。

コロナ感染症や災害時の各自治体からの緊急連絡などが自動配信されており、地域に根付いた情報を得ることができます。

- ・スマートフォンなら右側のQRコードから登録できます
- ・ホームページへ(外部リンク) <http://ai-jo.net/>
- ・携帯用のホームページへ(外部リンク) <http://ai-jo.net/Community/mobile/>

